

中部大学自己点検・評価実施要項

(趣旨)

1. この要項は、中部大学の教育研究活動等の質保証を目的とした大学全体の自己点検・評価の実施について定める。

(自己点検・評価から改善への流れ)

2. 本学の自己点検・評価は、公益財団法人大学基準協会における「評価項目」に準拠し、大学独自の項目を追加して作成する『自己点検・評価シート』に基づいて実施する。
3. 学部・研究科・研究所・センター事務系部署等(以下、「各組織」という。)は、『自己点検・評価シート』に基づき自己点検・評価を行い、翌年度以降の年度目標等を設定する。
4. ピアレビュー委員会は、各組織から提出された自己点検・評価シート、エビデンス等資料、およびヒアリング(学部・研究科等の教育組織は必須、その他組織は必要に応じて実施)をもとにピアレビューを行う。ピアレビューを行う上で資料等が不足する場合は、ピアレビュー対象組織に資料の追加提出や提示を求めることができる。
5. ピアレビュー委員会は、ピアレビュー結果をまとめ、自己点検・評価委員会に提出する。
6. 自己点検・評価委員会は、自己点検・評価シート(ピアレビュー結果を含む)等を内部質保証推進委員会に提出する。また、大学全体で共有し改善すべき事項(全学的課題)を抽出し、ピアレビュー結果の各組織の改善事項(個別課題)と併せて提案・報告する。
7. 個別課題の改善を要する組織は、ピアレビュー結果をもとに改善計画書(様式 2-1)と改善報告書(様式 2-2)を作成・提出し、計画的な改善を行う。

(公表)

8. 本学の教育研究の質の向上、および社会的使命の達成、学修者本位の教育に資することを目的として、自己点検・評価結果を学内外に向けて公表し、社会への説明責任を果たす。ただし、法人または大学として守秘すべき事項が含まれる場合は、公表の対象外とすることができる。

(庶務)

9. 自己点検・評価およびピアレビューの全般的な庶務は、大学企画部において行う。

(その他)

10. この要項に定めるもののほか、自己点検・評価およびピアレビューの実施に関して必要な事項は、自己点検・評価委員会委員長が大学企画室大学評価推進部長と協議のうえ、定めることができる。

(自己点検・評価に係る資料)

- ①中部大学 内部質保証体制図:図 1
- ②中部大学 自己点検・評価項目および評価組織一覧:表 1
- ③中部大学 自己点検・評価年間スケジュール:表 2
- ④中部大学 自己点検・評価実施計画:表 3-1
- ⑤中部大学 自己点検・評価対象組織(グループ分け)等:表 3-2
- ⑥(様式 1-1)自己点検・評価シート
- ⑦(様式 1-2)自己点検・評価シート **【総括】**
- ⑧(様式 1-3)自己点検・評価シート 根拠資料一覧
- ⑨(様式 2-1)自己点検・評価 改善計画書
- ⑩(様式 2-2)自己点検・評価 改善報告書

附 則

この要項は、2017 年 11 月 15 日から施行し、2018 年度に実施する 2017 年度の自己点検・評価から適用する。

附 則

この要項は、2019 年 4 月 25 日から施行する。

附 則

この要項は、2020 年 2 月 6 日から施行し、2019 年 9 月 1 日から適用する。

附 則

この要項は、2021 年 2 月 22 日から施行し、2021 年度に実施する自己点検・評価から適用する。

附 則

この要項は、2022 年 2 月 15 日から施行し、2022 年度に実施する自己点検・評価から適用する。

附 則

この要項は、2023 年 2 月 22 日から施行し、2023 年度に実施する自己点検・評価から適用する。

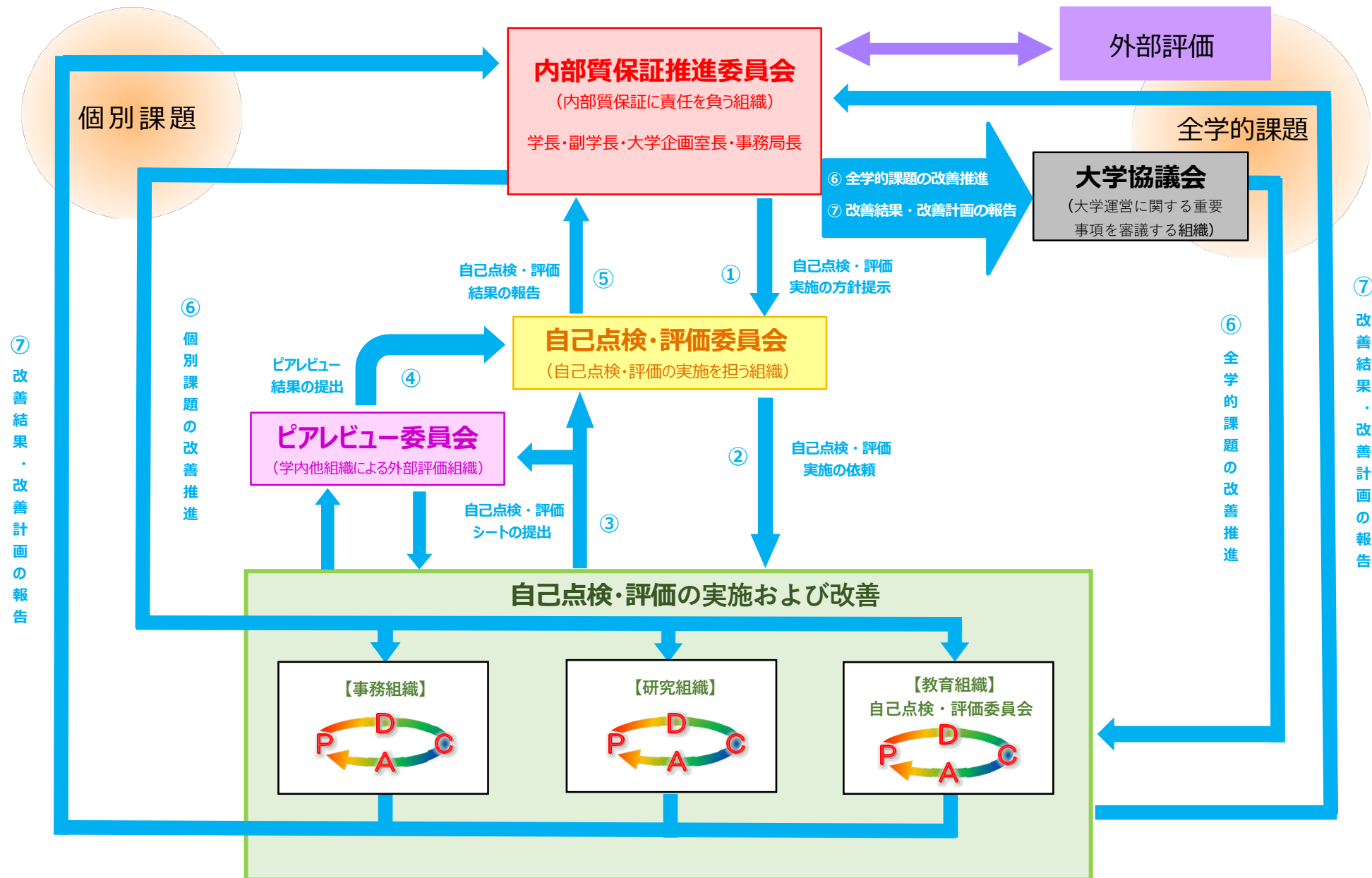
附 則

この要項は、2024 年 2 月 26 日から施行し、2024 年度に実施する自己点検・評価から適用する。

附 則

この要項は、2025 年 2 月 25 日から施行し、2025 年度に実施する自己点検・評価から適用する。

－ 中部大学 自己点検・評価の実施を中心とした内部質保証体制図 －



中部大学 自己点検・評価項目および評価組織一覧 (2025年2月現在)

評価基準				自己点検・評価項目および評価担当 ※「大学全体にかかる項目を担当する組織」欄に（ ）がある場合は、（ ）内組織と調整を行った上で評価する。									
基準	基準名	小基準	小基準名	Seq	評価シートNo.※	項目No.	評価項目	評価の視点	評価組織 ○：詳細点検（3年に一度） ◎：年度点検（毎年）				大学全体にかかる項目を担当する組織
									大学	学部 研究科	研究所 センター	事務	
1	理念・目的			1	ND0101	0101	大学の理念・目的を適切に設定すること。また、それを踏まえ、学部および研究科の目的を適切に設定し、公表していること。	(1)大学が掲げる理念を踏まえ、教育研究活動等の諸活動を方向付ける大学の目的および学部・研究科における教育研究上の目的を明らかにしているか。	○				教育・学生支援担当副学長
1	理念・目的			2	ND0102 ND0103 ND0104 NF1			(2)理念・目的を教職員および学生に周知するとともに、社会に公表しているか。	○	○ (新学科・新専攻設置時のみ)			①学園広報部 ②教務部 ③入学センター
1	理念・目的			3	ND0105 ND0106 ND0107 ND0108		大学として中・長期の計画その他の諸施策を策定していること。	(1)中・長期の計画その他の諸施策は、大学内外の状況を分析するとともに、組織、財政等の資源の裏付けを伴うなど、理念・目的の達成に向けて、具体的なかつ実現可能な内容であるか。	○				①総務担当副学長 ②大学事務局長 ③法人事務局長 ④財務部
1	理念・目的			4	ND0105 ND0106 ED0101 ED0102	0102		(2)中・長期の計画その他の諸施策の進捗および達成状況を定期的に検証しているか。	◎				①総務担当副学長 ②大学事務局長
2	内部質保証			5	ND0201	0201	内部質保証のための方針を適切に設定していること。また、教育の充実と学習成果の向上を図るために、内部質保証システムを整備し、適切に機能させていること。	(1)内部質保証のための全学的な方針において、基本的な考え方、体制（全学内部質保証推進組織をはじめとした諸組織の位置づけ、役割や責任）や手続を明らかにしているか。	○				評価担当副学長
2	内部質保証			6	ND0202 ND0203			(2)教育の企画・設計とその実施、自己点検・評価および改善活動に関して、全学的な調整や支援を行っているか。 ※ 具体的な例 ・3つの方針の策定の調整・支援 ・体系的・組織的な教育課程の編成に向けた調整・支援 ・効果的な教育方法の開発とその運用のための調整・支援 ・学習成果の可視化に向けた調整・支援 ・自己点検・評価の実施やその結果の活用に向けた調整・支援	○				①教育・学生支援担当副学長 ②大学企画室長
2	内部質保証			7	ND0201 ND0204 NF2			(3)大学全体規模や学部、研究科その他の組織（教職課程を実施する全学的組織を含む）における自己点検・評価をそれぞれ定期的に実施し、その結果を活用して改善・向上に取り組んでいるか。	○	○			①評価担当副学長 ②教職課程センター
2	内部質保証			8	ND0205 ND0206 ND0207 ND0208 NF2			(4)学部、研究科その他の組織における自己点検・評価の客観性、妥当性を高めるために、学生の意見や外部の視点を取り入れるなどの工夫をしているか。	○	○			①教務部 ②学生部 ③大学IR推進部 ④大学評価推進部
2	内部質保証			9	ND0201 ND0209 NF2			(5)行政機関、認証評価機関等から指摘事項があった場合、それに適切に対応しているか。	○	○			①評価担当副学長 ②学事部

※ N：詳細点検 E：年度点検 D：大学 F：学部・研究科 S：研究所・センター J：事務

評価基準				自己点検・評価項目および評価担当				※「大学全体にかかる項目を担当する組織」欄に（ ）がある場合は、（ ）内組織と調整を行った上で評価する。					
基準	基準名	小基準	小基準名	Seq	評価シートNo.	項目No.	評価項目	評価の視点	評価組織 ○：詳細点検（3年に一度） ◎：年度点検（毎年）				大学全体にかかる項目を担当する組織
									大学	学部 研究科	研究所 センター	事務	
2	内部質保証			10	ND0210	0202	大学の諸活動の状況等を適切に公表し、社会に対する説明責任を果たしていること。	(1)教育研究活動、自己点検・評価結果、財務、その他の諸活動の状況等を適切に公表し、社会に対する説明責任を果たしているか。	○				学園広報部
2	内部質保証			11	ND0207 ND0211			(2)教育研究活動の情報として、学生の学習実態、学習上の成果に関わる情報を社会にわかりやすく公表しているか。	○				①大学IR推進部 ②高等教育推進部
2	内部質保証			12	ND0201 ED0201	0203	内部質保証システムの有効性および適切性について定期的に点検・評価を行い、改善・向上に向けた取り組みを行っていること。	内部質保証システムの整備や機能の状況を定期的に点検・評価し、その結果に基づき、教育の質を保证する仕組みとしてより有効に機能できるよう改善・向上に取り組んでいるか。	◎				評価担当副学長
3	教育研究組織			13	ND0301 ND0302	0301	大学の理念・目的に照らし、学部・研究科、附置研究所、センターその他の組織の設置状況が適切であること。	大学の理念・目的を踏まえ、また、学問の動向や社会的要請等に配慮したうえで、教育研究組織（学部・研究科や附置研究所、センター等）を構成しているか。	○				①総務担当副学長 ②研究戦略担当副学長
3	教育研究組織			14	ND0301 ED0301	0302	教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価し、その結果を活用して改善・向上に向けて取り組んでいること。	(1)教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。	◎				総務担当副学長
3	教育研究組織			15	ND0301 ED0301			(2)点検・評価の結果を活用して、教育研究組織に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。	◎				総務担当副学長
4	教育・学習			16	ND0401 NF4a	0401	達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的なあり方を示していること。	(1)学位授与方針において、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、教育課程の編成・実施方針において、学習成果を達成するために必要な教育課程および教育・学習の方法を明確にしているか。	○	○			教育・学生支援担当副学長
4	教育・学習			17	ND0401 NF4a			(2)上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。	○	○			教育・学生支援担当副学長
4	教育・学習			18	ND0401 NF4a	0402	学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。	学習成果の達成につながるよう、教育課程の編成・実施方針に沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。 ※ 具体的な例 ・授与する学位と整合し専門分野の学問体系等にも適った授業科目の開講。 ・各授業科目の位置づけ（主要授業科目の類別等）と到達目標の明確化。 ・学習の順次性に配慮した授業科目の年次・学期配当および学びの過程の可視化。 ・学生の学習時間の考慮とそれを踏まえた授業期間および単位の設定。	○	○			教育・学生支援担当副学長
4	教育・学習			19	NF4a			(1)授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果および教育課程の編成・実施方針に応じたものであり、期待された効果が得られているか。		○			

評価基準				自己点検・評価項目および評価担当				※「大学全体にかかる項目を担当する組織」欄に（ ）がある場合は、（ ）内組織と調整を行った上で評価する。					
基準	基準名	小基準	小基準名	Seq	評価シートNo.	項目No.	評価項目	評価の視点	評価組織 ○：詳細点検（3年に一度） ◎：年度点検（毎年）				大学全体にかかる項目を担当する組織
									大学	学部 研究科	研究所 センター	事務	
4	教育・学習			20	NF4a			(2)ICTを利用した遠隔授業を提供する場合、自らの方針に沿って、適した授業科目に用いられているか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られているか。		○			
4	教育・学習			21	ND0401 NF4a	0403	課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。	(3)授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。 ※ 具体的な例 ・学習状況に応じたクラス分けなど、学生の多様性への対応。 ・単位の実質化（単位制度の趣旨に沿った学習内容、学習時間の確保）を図る措置。 ・シラバスの作成と活用（学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容であるか。）。 ・授業の履修に関する指導、学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認、授業外学習に資するフィードバックなどの措置。	○	○			教育・学生支援担当副学長
4	教育・学習			22	ND0402 NF4b			(1)成績評価および単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。	○	○			教務部
4	教育・学習			23	ND0402 NF4b			(2)成績評価および単位認定にかかる基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。	○	○			教務部
4	教育・学習			24	ND0402 NF4b			(3)既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。	○	○			教務部
4	教育・学習			25	ND0402 NF4b			(4)学位授与における実施手続および体制が明確であるか。	○	○			教務部
4	教育・学習			26	ND0401 NF4b			(5)学位授与方針に則して、適切に学位を授与しているか。	○	○			教育・学生支援担当副学長
4	教育・学習			27	ND0401 NF4b			(1)学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。	○	○			教育・学生支援担当副学長
4	教育・学習			28	ND0401 NF4b			(2)学習成果を把握・評価する指標や方法は、学位授与方針に定めた学習成果に照らして適切なものか。	○	○			教育・学生支援担当副学長
4	教育・学習			29	ND0403 ND0404 NF4b	0405	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握および評価していること。	(3)指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、大学として設定する目的に応じた活用を図っているか。 ≪学習成果の測定方法例≫ ・アセスメント・テスト（GPS-Academic） ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査（学びに関する調査 等） ・卒業生、就職先への意見聴取	○	○			①学生部・教務部・キャリア部 ②大学企画室
4	教育・学習			30	ND0401 NF4b			(1)教育課程およびその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしているか。	○	○			教育・学生支援担当副学長

評価基準				自己点検・評価項目および評価担当				※「大学全体にかかる項目を担当する組織」欄に（ ）がある場合は、（ ）内組織と調整を行った上で評価する。					
基準	基準名	小基準	小基準名	Seq	評価シート No.	項目 No.	評価項目	評価の視点	評価組織 ○：詳細点検（3年に一度） ◎：年度点検（毎年）				大学全体にかかる項目を 担当する組織
									大学	学部 研究科	研究所 センター	事務	
4	教育・学習			31	ND0405 NF4b	0406	教育課程およびその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	(2) 課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。	○	○			大学IR推進部
4	教育・学習			32	ND0402 ND0405 ND0406 NF4b			(3) 外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、自己点検・評価の客観性を高めるための工夫を行っているか。	○	○			①教務部 ②大学IR推進部 ③大学評価推進部
4	教育・学習			33	ND0401 NF4b EF4			(4) 自己点検・評価の結果を活用し、教育課程およびその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。	○	◎			教育・学生支援担当副学長
5	学生の受け入れ			34	ND0501 NF5	0501	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集および入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施していること。	(1) 学生の受け入れ方針は、少なくとも学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程）に設定しているか。	○	○			入学センター
5	学生の受け入れ			35	ND0501 NF5			(2) 学生の受け入れ方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。	○	○			入学センター
5	学生の受け入れ			36	ND0501			(3) 学生の受け入れ方針に沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	○				入学センター
5	学生の受け入れ			37	ND0501			(4) 入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているか。	○				入学センター
5	学生の受け入れ			38	ND0501 NF5			(5) すべての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。	○	○			入学センター
5	学生の受け入れ			39	ND0502 ND0503 NF5	0502	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していること。	学士課程全体および各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学者数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。	○	○			①入試担当副学長 ②教育・学生支援担当副学長
5	学生の受け入れ			40	ND0501 NF5 EF5	0503	学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	(1) 学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。	○	◎			入学センター
5	学生の受け入れ			41	ND0501 NF5 EF5			(2) 点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。	○	◎			入学センター
6	教員・教員組織			42	ND0601 ND0602 NF6	0601	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を安定的にかつ十全に展開できる教員組織を編制し、学習成果の達成につながる教育の実現や大学として目指す研究上の成果につなげていること。	(1) 大学として求める教員像や教員組織の編制方針に基づき、教員組織を編制しているか。 ※具体的な例 ・教員が担う責任の明確性。 ・法令で必要とされる数の充足。 ・科目適合性を含め、学習成果の達成につながる教育や研究等の実施に適った教員構成。 ・各教員の担当授業科目、担当授業時間の適切な把握・管理。 ・複数学部等の基幹教員を兼ねる者について、業務状況や教育効果の面での適切性。	○	○			①総務担当副学長 ②学事部

評価基準				自己点検・評価項目および評価担当				※「大学全体にかかる項目を担当する組織」欄に（ ）がある場合は、（ ）内組織と調整を行った上で評価する。						
基準	基準名	小基準	小基準名	Seq	評価シート No.※	項目 No.	評価項目	評価の視点	評価組織 ○：詳細点検（3年に一度） ◎：年度点検（毎年）				大学全体にかかる項目を担当する組織	
									大学	学部 研究科	研究所 センター	事務		
6	教員・教員組織			43	ND0602 NF6			(2)クロスアポイントメントなどによって、他大学または企業等の人材を教員として任用する場合は、教員の業務範囲を明確に定め、また、業務状況を適切に把握しているか。	○	○			学事部	
6	教員・教員組織			44	ND0601 NF6			(3)教員は職員と役割分担し、それぞれの責任を明確にしながら協働・連携することで、組織的かつ効果的な教育研究活動を実現しているか。	○	○			総務担当副学長	
6	教員・教員組織			45	ND0603 NF6			(4)授業において指導補助者に補助または授業の一部を担当させる場合、あらかじめ責任関係や役割を規程等に定め、明確な指導計画のもとで適任者にそれを行わせているか。	○	○			教務部	
6	教員・教員組織			46	ND0601 ND0602 NF6	0602	教員の募集、採用、昇任等を適切に行っていること。	(1)教員の募集、採用、昇任等に関わる明確な基準および手続に沿い、公正性に配慮しながら人事を行っているか。	○	○			①総務担当副学長 ②学事部	
6	教員・教員組織			47	ND0601 ND0602 NF6			(2)年齢構成に著しい偏りが生じないように人事を行っているか。また、性別など教員の多様性に配慮しているか。	○	○			①総務担当副学長 ②学事部	
6	教員・教員組織			48	ND0604 NF6	0603	教育研究活動等の改善・向上、活性化につながる取り組みを組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上につなげていること。	(1)教員の教育能力の向上、教育課程や授業方法の開発および改善につなげる組織的な取り組みを行い、成果を得ているか。	○	○			高等教育推進部	
6	教員・教員組織			49	ND0605 ND0606 NF6			(2)教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化や資質向上を図るために、組織的な取り組みを行い、成果を得ているか。	○	○			①研究支援部 ②国際・地域推進部	
6	教員・教員組織			50	ND0601			(3)大学としての考えに応じて教員の業績を評価する仕組みを導入し、教育活動、研究活動等の活性化を図ることに寄与しているか。	○				総務担当副学長	
6	教員・教員組織			51	ND0603 NF6			(4)教員以外が指導補助者となって教育に関わる場合、必要な研修を行い、授業の運営等が適切になされるよう図っているか。	○	○			教務部	
6	教員・教員組織			52	ND0601 ED0601 NF6	0604	教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	(1)教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。	◎	○			総務担当副学長	
6	教員・教員組織			53	ND0601 ED0601 NF6			(2)点検・評価の結果を活用して、教員組織に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。	◎	○			総務担当副学長	
7	学生支援			54	ND0701			(1)学生支援に関する大学としての方針に基づき、各種の学生支援体制を整備し、教員と職員がそれぞれ役割を果たしながら支援を行っているか。	○				学生部・教務部・キャリア部	
7	学生支援			55	ND0701			(2)各種の学生支援にあたり、専門的な知識・能力や経験を有する者を含む必要なスタッフを配置しているか。	○				学生部・教務部・キャリア部	
7	学生支援			56	ND0701			(3)学生支援に関する情報を学生に積極的に提供するとともに、その支援は学生の利用しやすさに配慮しているか。	○				学生部・教務部・キャリア部	

評価基準				自己点検・評価項目および評価担当				※「大学全体にかかる項目を担当する組織」欄に（ ）がある場合は、（ ）内組織と調整を行った上で評価する。					
基準	基準名	小基準	小基準名	Seq	評価シート No.	項目 No.	評価項目	評価の視点	評価組織 ○：詳細点検（3年に一度） ◎：年度点検（毎年）				大学全体にかかる項目を 担当する組織
									大学	学部 研究科	研究所 センター	事務	
7	学生支援			57	ND0702 NF7	0701	学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備し、適切に実施していること。	(4) [修学支援（学習面）] 学生が能力に応じて自律的に学習を進められるようサポートする仕組みを整備しているか（補習教育、補充教育、学習に関わる相談等）。	○	○			教務部
7	学生支援			58	ND0703 NF7			(5) [修学支援（学習面）] 障がいのある学生や留学生の実態に応じ、それらの学生に対する修学支援を行っているか。	○	○			教務部・学生部
7	学生支援			59	ND0703 NF7			(6) [修学支援（学習面）] 学習の継続に困難を抱える学生（留年者、退学希望者等）に対し、その実態に応じて対応しているか。	○	○			教務部・学生部
7	学生支援			60	ND0702 ND0704			(7) [修学支援（学習面）] 遠隔授業をはじめ教育等でICTを活用する場合は、ICT機器の準備や通信環境確保等において学生間に格差が生じないよう、必要に応じて対応しているか（機器貸与、通信環境確保のための支援等）。	○				①教務部 ②情報統括部
7	学生支援			61	ND0702 ND0704 NF7			(8) [修学支援（学習面）] ICTを利用した遠隔授業を行う場合にあっては、自宅等の個々の場所で学習する学生からの相談に対応するなどの学習支援を行っているか。また、学生の通信環境へ配慮した対応（授業動画の再視聴機会の確保等）を必要に応じて行っているか。	○	○			①教務部 ②情報統括部
7	学生支援			62	ND0705			(9) [修学支援（経済面）] 学生に対する経済的支援（授業料減免、学内外の奨学金を通じた支援等）を、学生の実態等に応じて行っているか。	○				学生部
7	学生支援			63	ND0705 NF7			(10) [生活支援] 学生の心身の健康、保健衛生等に関わる指導相談を、学生の実態に応じて行っているか。	○	○			学生部
7	学生支援			64	ND0705 NF7			(11) [生活支援] 学生の孤立化を防止するため、人間関係構築につながる措置（学生の交流機会の確保等）を必要に応じて行っているか。とりわけICTを利用した遠隔授業を行う場合において配慮しているか。	○	○			学生部
7	学生支援			65	ND0706 ND0702 NF7			(12) [進路支援] 各学位課程（学士課程、修士課程や博士課程など）や分野等における必要性、個々の学生の特性等に応じ、就職支援のほか、職業的自立に向けたキャリア教育・キャリア形成支援等の進路支援を行っているか。	○	○			①キャリア部 ②教務部
7	学生支援			66	ND0705 NF7			(13) [その他支援] ボランティア活動・部活動等の正課外における学生の活動への支援など、必要に応じた支援を行っているか。	○	○			学生部
7	学生支援			67	ND0705 NF7	0702	学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。	(14) [学生の基本的人権の保障] ハラスメント防止、プライバシー権の保障や苦情申立への対応など、学生の基本的人権の保障を図る取り組みを行っているか。	○	○			学生部
7	学生支援			68	ND0707 NF7 EF7			(1) 学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。	○	◎			教育・学生支援担当副学長
7	学生支援			69	ND0707 NF7 EF7			(2) 点検・評価の結果を活用して、学生支援に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。	○	◎			教育・学生支援担当副学長

評価基準				自己点検・評価項目および評価担当				※「大学全体にかかる項目を担当する組織」欄に（ ）がある場合は、（ ）内組織と調整を行った上で評価する。					
基準	基準名	小基準	小基準名	Seq	評価シートNo.	項目No.	評価項目	評価の視点	評価組織 ○：詳細点検（3年に一度） ◎：年度点検（毎年）				大学全体にかかる項目を担当する組織
									大学	学部 研究科	研究所 センター	事務	
8	教育研究等環境			70	ND0801 ND0802	0801	教育研究等環境の整備に関する方針に基づき、学生の学習、教員の教育研究活動に必要な環境を適切に整備していること。	(1)教育研究等環境の整備に関する方針に基づき、学生の学習環境や教員の教育研究環境を適切に整備しているか。	○				①管財部 ②学生部・教務部・キャリア部
8	教育研究等環境			71	ND0803			(2)学生の学習や教員の教育研究活動の必要性に応じてネットワーク環境やICT機器を整備し技術的な支援を行う等により、それらの活用を促進しているか。	○				情報統括部
8	教育研究等環境			72	ND0804 ND0803			(3)学生および教職員の情報倫理の確立を図るために取り組んでいるか。	○				①学生部 ②情報統括部
8	教育研究等環境			73	ND0805	0802	図書館サービスおよび学術情報サービスを提供するための体制を備えていること。また、それらを適切に機能させていること。	(1)教育研究等環境の整備に関する方針に基づき、図書その他の学術情報資料を体系的に整備しているか。	○				図書館
8	教育研究等環境			74	ND0805			(2)図書館には、学生および教員の利用のために、必要な専門的な知識を有する職員を含む人員を適切に配置しているか。また、図書館等の施設環境が適切であるか。	○				図書館
8	教育研究等環境			75	ND0806	0803	研究活動に関わる支援、条件整備を通じ、研究活動の促進を図っていること。また、健全な研究活動のために必要な措置を講じていること。	(1)研究に対する大学の基本的な考えに沿って、長期的な視点に立った支援や条件整備を十分に行い、各教員の研究活動の活性化につなげているか（教員に対する研究費の支給、研究室の整備、研究時間の確保、専門的な研究支援人材の活用等の人的な支援、若手研究者育成のための仕組みの整備等）。	○				研究支援部
8	教育研究等環境			76	ND0806 ND0807 NF8			(2)研究倫理や研究活動の不正防止に関する規程を定め、かつ、学生も含めて研究倫理の遵守を図る取り組みを行っているか。	○	○			①研究支援部 ②学事部
8	教育研究等環境			77	ND0801 ND0802 ND0806 ED0801 ED0802 ED0803 NF8	0804	教育研究等環境に関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	(1)教育研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。	◎	○			①管財部 ②学生部・教務部・キャリア部 ③研究支援部
8	教育研究等環境			78	ND0801 ND0802 ND0806 ED0801 ED0802 ED0803 NF8			(2)点検・評価の結果を活用して、教育研究等環境に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。	◎	○			①管財部 ②学生部・教務部・キャリア部 ③研究支援部
9	社会連携・社会貢献			79	ND0901 ND0902 ND0903 NF9	0901	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していること。また、教育研究成果を適切に社会に還元していること。	(1)社会連携・社会貢献に関する方針のもと、学外機関、地域社会等との連携、大学が生み出す知識、技術等を社会に還元する取り組みを行っているか。	○	○			①国際・地域推進部 ②学園広報部 ③研究支援部
9	社会連携・社会貢献			80	ND0901 ND0902 ND0903 NF9			(2)社会連携・社会貢献に関する取り組みにより、地域や社会の課題解決等に貢献し、大学の存在価値を高めることにつなげているか。	○	○			①国際・地域推進部 ②学園広報部 ③研究支援部

評価基準				自己点検・評価項目および評価担当 ※「大学全体にかかる項目を担当する組織」欄に（ ）がある場合は、（ ）内組織と調整を行った上で評価する。									
基準	基準名	小基準	小基準名	Seq	評価シート No.	項目 No.	評価項目	評価の視点	評価組織 ○：詳細点検（3年に一度） ◎：年度点検（毎年）				大学全体にかかる項目を担当する組織
									大学	学部 研究科	研究所 センター	事務	
9	社会連携・社会貢献			81	ND0901 ED0901 NF9	0902	社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	(1)社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。	◎	○			国際・地域推進部
9	社会連携・社会貢献			82	ND0901 ED0901 NF9			(2)点検・評価の結果を活用して、社会連携・社会貢献に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。	◎	○			国際・地域推進部
10	大学運営・財務	1	大学運営	83	ND1001	1011	大学運営に関する方針に基づき、学長をはじめとする必要の職を置き、教授会等の組織を設け、これらの権限等を明示していること。また、それに基づいた適切な大学運営を行っていること。加えて、大学を設置・管理する法人の運営が適切であること。	(1)大学の理念・目的、大学の将来を見据えた中・長期の計画等を実現するために必要な大学運営に関する大学としての方針を教職員で共有しているか。	○				学事部
10	大学運営・財務	1	大学運営	84	ND1001			(2)関係法令および大学運営に関する方針に基づき、明文化された規程に従って大学運営を適切に行っているか。また、その透明性を確保するために、学長等の役職者、教授会等の組織の権限と役割を法令に基づき規程上明確に定めているか。さらに、その選任、意思決定や権限執行等を、適正な手続のもとで行っているか。	○				学事部
10	大学運営・財務	1	大学運営	85	ND1002			(3)法人はその組織および役職者の権限と責任を明確化し、大学を適切に管理しているか。また、関係法令に基づき定めた規程に従い役職者の選任および運営を適切に行い、意思決定・業務執行に対する法人組織内のチェック機能を働かせているか。	○				総務部
10	大学運営・財務	1	大学運営	86	ND1003	1012	予算編成および予算執行を適切に行っていること。	予算を適正な手続で編成し、予算執行においては透明性を確保しているか。	○				財務部
10	大学運営・財務	1	大学運営	87	ND1004 ND1005	1013	法人および大学の運営に関する業務、教育研究活動の支援、その他大学運営に必要な組織を設け、人員を配置していること。また、その組織が適切に機能していること。	(1)大学運営に必要な組織を整備し、法人および大学の運営に関する業務、教育研究活動の支援等の業務内容に応じた人員を配置しているか。	○				①法人事務局長 ②大学事務局長
10	大学運営・財務	1	大学運営	88	ND1005 NJ1001			(2)大学運営が円滑かつ効果的に行われるように、教員と職員の協働・連携を図っているか。	○			○	大学事務局長
10	大学運営・財務	1	大学運営	89	ND1004 ND1005			(3)必要に応じ、専門的な知識および技能を有する職員の育成、配置を行っているか。	○				①法人事務局長 ②大学事務局長
10	大学運営・財務	1	大学運営	90	ND1004 ND1005			(4)職員の採用、昇格等の人事および業務評価やそれに基づく処遇改善を、適正に行っているか。	○				①法人事務局長 ②大学事務局長
10	大学運営・財務	1	大学運営	91	ND1002 ND1001 ND1006			(5)大学運営に関する教員および職員の資質向上を図るため、教員および職員に対して、スタッフ・ディベロップメント（SD）活動を組織的に実施しているか。	○				①総務部 ②学事部 ③高等教育推進部
10	大学運営・財務	1	大学運営	92	ND1007 ND1003			(1)監事による監査、公認会計士または監査法人による財務監査等を適切なプロセスと内容で行い、大学運営の適切性を担保するとともに、その結果を活用して改善・向上に取り組んでいるか。	○				①監査室 ②財務部

評価基準				自己点検・評価項目および評価担当				※「大学全体にかかる項目を担当する組織」欄に（ ）がある場合は、（ ）内組織と調整を行った上で評価する。					
基準	基準名	小基準	小基準名	Seq	評価シートNo.	項目No.	評価項目	評価の視点	評価組織 ○：詳細点検（3年に一度） ◎：年度点検（毎年）				大学全体にかかる項目を担当する組織
									大学	学部 研究科	研究所 センター	事務	
10	大学運営・財務	1	大学運営	93	ND1005 ED1001	1014	大学運営に関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	(2)大学運営にかかる組織のあり方等を含む大学運営に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。	◎				大学事務局長
10	大学運営・財務	1	大学運営	94	ND1005 ED1001			(3)点検・評価の結果を活用して、大学運営にかかる組織のあり方等を含む大学運営に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。	◎				大学事務局長
10	大学運営・財務	2	財務	95	ND1003	1021	教育研究活動を安定して遂行するため、中・長期の財政計画を適切に策定していること。	(1)具体的かつ実現可能な中・長期の財政計画を策定し、大学運営にあたっているか。	○				財務部
10	大学運営・財務	2	財務	96	ND1003			(2)財務関係比率に関する指標または目標を設定し、健全な運営を確保しようとしているか。	○				財務部
10	大学運営・財務	2	財務	97	ND1003	1022	教育研究活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政基盤を確立していること。	(1)教育研究水準を維持し、向上させていくための安定的な財政基盤を確保しているか。	○				財務部
10	大学運営・財務	2	財務	98	ND1003			(2)授業料収入への過度の依存を避けるため、学外から資金を受け入れ、収入の多様化を図っているか。また、それによってどの程度の財源が確保されているかが明らかであるか。	○				財務部
11	大学独自の評価項目	1	研究推進	99	NS1101 ES1101	1111	研究組織において、計画的に研究活動を推進しているか。	研究組織（研究所、研究系センター等）において、設置目的と年度重点目標に沿った研究推進を計画的に進めているか。			◎		
11	大学独自の評価項目	2	管理運営	100	NJ1001 EJ1101	1121	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っているか。	(1)管理運営組織（センター、事務部等）の設置目的や事務分掌等に則り、年度重点目標を設定し、持続的に改善・向上の取り組みを行っているか。				◎	
11	大学独自の評価項目	2	管理運営	101	NF11 NS1101 ES1101 NJ1001 EJ1101			(2)委員会活動の検証・開催、および議事録作成に関する手続は、適切に行っているか。		○	◎	◎	
12	大学独自の評価項目		総括	102	ND1201	1201	基準1「理念・目的」について、全学的視点から内部質保証に向けての取り組みが実行されているか。	(1)本学の「理念・目的」について、内部質保証のための全学的な方針を踏まえてPDCAサイクルを適切に実行しているか。 ・具体的に特筆すべき点（組織等を含む）をあげて評価 ・具体的に改善すべき点（組織等を含む）をあげて評価	○				教育・学生支援担当副学長
12	大学独自の評価項目		総括	103				(2)本学の「理念・目的」について、社会やステークホルダーに対して、大学として説明責任を果たしているか。	○				教育・学生支援担当副学長
12	大学独自の評価項目		総括	104	ND1202	1202	基準2「内部質保証」について、全学的視点から内部質保証に向けての取り組みが実行されているか。	(1)本学の「内部質保証」について、内部質保証のための全学的な方針を踏まえてPDCAサイクルを適切に実行しているか。 ・具体的に特筆すべき点（組織等を含む）をあげて評価 ・具体的に改善すべき点（組織等を含む）をあげて評価	○				評価担当副学長 (大学企画室長)
12	大学独自の評価項目		総括	105				(2)本学の「内部質保証」について、社会やステークホルダーに対して、大学として説明責任を果たしているか。	○				評価担当副学長 (大学企画室長)

評価基準				自己点検・評価項目および評価担当 ※「大学全体にかかる項目を担当する組織」欄に（ ）がある場合は、（ ）内組織と調整を行った上で評価する。									
基準	基準名	小基準	小基準名	Seq	評価※ シート No.	項目 No.	評価項目	評価の視点	評価組織 ○：詳細点検（3年に一度） ◎：年度点検（毎年）				大学全体にかかる項目を 担当する組織
									大学	学部 研究科	研究所 センター	事務	
12	大学独自の 評価項目		総括	106	ND1203	1203	基準3「教育研究組織」について、全学的視点から内部質保証に向けての取り組みが実行されているか。	(1) 本学の「教育研究組織」について、内部質保証のための全学的な方針を踏まえてPDCAサイクルを適切に実行しているか。 ・具体的に特筆すべき点（組織等を含む）をあげて評価 ・具体的に改善すべき点（組織等を含む）をあげて評価	○				総務担当副学長
12	大学独自の 評価項目		総括	107				(2) 本学の「教育研究組織」について、社会やステークホルダーに対して、大学として説明責任を果たしているか。	○				総務担当副学長
12	大学独自の 評価項目		総括	108	ND1204	1204	基準4「教育・学習」について、全学的視点から内部質保証に向けての取り組みが実行されているか。	(1) 本学の「教育・学習」について、内部質保証のための全学的な方針を踏まえてPDCAサイクルを適切に実行しているか。 ・具体的に特筆すべき点（組織等を含む）をあげて評価 ・具体的に改善すべき点（組織等を含む）をあげて評価	○				教育・学生支援担当副学長 （教務部長）
12	大学独自の 評価項目		総括	109				(2) 本学の「教育・学習」について、社会やステークホルダーに対して、大学として説明責任を果たしているか。	○				教育・学生支援担当副学長 （教務部長）
12	大学独自の 評価項目		総括	110	ND1205	1205	基準5「学生の受け入れ」について、全学的視点から内部質保証に向けての取り組みが実行されているか。	(1) 本学の「学生の受け入れ」について、内部質保証のための全学的な方針を踏まえてPDCAサイクルを適切に実行しているか。 ・具体的に特筆すべき点（組織等を含む）をあげて評価 ・具体的に改善すべき点（組織等を含む）をあげて評価	○				入試担当副学長 （入学センター長）
12	大学独自の 評価項目		総括	111				(2) 本学の「学生の受け入れ」について、社会やステークホルダーに対して、大学として説明責任を果たしているか。	○				入試担当副学長 （入学センター長）
12	大学独自の 評価項目		総括	112	ND1206	1206	基準6「教員・教員組織」について、全学的視点から内部質保証に向けての取り組みが実行されているか。	(1) 本学の「教員・教員組織」について、内部質保証のための全学的な方針を踏まえてPDCAサイクルを適切に実行しているか。 ・具体的に特筆すべき点（組織等を含む）をあげて評価 ・具体的に改善すべき点（組織等を含む）をあげて評価	○				人事担当副学長
12	大学独自の 評価項目		総括	113				(2) 本学の「教員・教員組織」について、社会やステークホルダーに対して、大学として説明責任を果たしているか。	○				人事担当副学長
12	大学独自の 評価項目		総括	114	ND1207	1207	基準7「学生支援」について、全学的視点から内部質保証に向けての取り組みが実行されているか。	(1) 本学の「学生支援」について、内部質保証のための全学的な方針を踏まえてPDCAサイクルを適切に実行しているか。 ・具体的に特筆すべき点（組織等を含む）をあげて評価 ・具体的に改善すべき点（組織等を含む）をあげて評価	○				教育・学生支援担当副学長 （学生部長・キャリア部長）
12	大学独自の 評価項目		総括	115				(2) 本学の「学生支援」について、社会やステークホルダーに対して、大学として説明責任を果たしているか。	○				教育・学生支援担当副学長 （学生部長・キャリア部長）
12	大学独自の 評価項目		総括	116	ND1208	1208	基準8「教育研究等環境」について、全学的視点から内部質保証に向けての取り組みが実行されているか。	(1) 本学の「教育研究等環境」について、内部質保証のための全学的な方針を踏まえてPDCAサイクルを適切に実行しているか。 ・具体的に特筆すべき点（組織等を含む）をあげて評価 ・具体的に改善すべき点（組織等を含む）をあげて評価	○				研究戦略担当副学長

評価基準				自己点検・評価項目および評価担当				※「大学全体にかかる項目を担当する組織」欄に（ ）がある場合は、（ ）内組織と調整を行った上で評価する。					
基準	基準名	小基準	小基準名	Seq	評価シート No.	項目 No.	評価項目	評価の視点	評価組織 ○：詳細点検（3年に一度） ◎：年度点検（毎年）				大学全体にかかる項目を 担当する組織
									大学	学部 研究科	研究所 センター	事務	
12	大学独自の 評価項目		総括	117				(2) 本学の「教育研究等環境」について、社会やステークホルダーに対して、大学として説明責任を果たしているか。	○				研究戦略担当副学長
12	大学独自の 評価項目		総括	118	ND1209	1209	基準9「社会連携・社会貢献」について、全学的視点から内部質保証に向けての取り組みが実行されているか。	(1) 本学の「社会連携・社会貢献」について、内部質保証のための全学的な方針を踏まえてPDCAサイクルを適切に実行しているか。 ・具体的に特筆すべき点（組織等を含む）をあげて評価 ・具体的に改善すべき点（組織等を含む）をあげて評価	○				国際・地域・社会連携戦略担当副学長 （学園広報部長）
12	大学独自の 評価項目		総括	119				(2) 本学の「社会連携・社会貢献」について、社会やステークホルダーに対して、大学として説明責任を果たしているか。	○				国際・地域・社会連携戦略担当副学長 （学園広報部長）
12	大学独自の 評価項目		総括	120	ND1210a	1210a	基準10「大学運営・財務」の「大学運営」について、全学的視点から内部質保証に向けての取り組みが実行されているか。	(1) 本学の「大学運営」について、内部質保証のための全学的な方針を踏まえてPDCAサイクルを適切に実行しているか。 ・具体的に特筆すべき点（組織等を含む）をあげて評価 ・具体的に改善すべき点（組織等を含む）をあげて評価	○				大学事務局長
12	大学独自の 評価項目		総括	121				(2) 本学の「大学運営」について、社会やステークホルダーに対して、大学として説明責任を果たしているか。	○				大学事務局長
12	大学独自の 評価項目		総括	122	ND1210b	1210b	基準10「大学運営・財務」の「財務」について、全学的視点から内部質保証に向けての取り組みが実行されているか。	(1) 本学の「財務」について、内部質保証のための全学的な方針を踏まえてPDCAサイクルを適切に実行しているか。 ・具体的に特筆すべき点（組織等を含む）をあげて評価 ・具体的に改善すべき点（組織等を含む）をあげて評価	○				法人事務局長 （財務部長）
12	大学独自の 評価項目		総括	123				(2) 本学の「財務」について、社会やステークホルダーに対して、大学として説明責任を果たしているか。	○				法人事務局長 （財務部長）
12	大学独自の 評価項目		総括	124	ND1211a	1211a	基準11「大学独自の評価項目」の「研究推進」について、全学的視点から内部質保証に向けての取り組みが実行されているか。	(1) 本学の「研究推進」について、内部質保証のための全学的な方針を踏まえてPDCAサイクルを適切に実行しているか。 ・具体的に特筆すべき点（組織等を含む）をあげて評価 ・具体的に改善すべき点（組織等を含む）をあげて評価	○				研究戦略担当副学長
12	大学独自の 評価項目		総括	125				(2) 本学の「研究推進」について、社会やステークホルダーに対して、大学として説明責任を果たしているか。	○				研究戦略担当副学長
12	大学独自の 評価項目		総括	126	ND1211b	1211b	基準11「大学独自の評価項目」の「管理運営」について、全学的視点から内部質保証に向けての取り組みが実行されているか。	(1) 本学の「管理運営」について、内部質保証のための全学的な方針を踏まえてPDCAサイクルを適切に実行しているか。 ・具体的に特筆すべき点（組織等を含む）をあげて評価 ・具体的に改善すべき点（組織等を含む）をあげて評価	○				大学事務局長
12	大学独自の 評価項目		総括	127				(2) 本学の「管理運営」について、社会やステークホルダーに対して、大学として説明責任を果たしているか。	○				大学事務局長

中部大学 自己点検・評価年間スケジュール

自己点検・ 評価委員会	2月 翌年度ピアレビュー委員会を設置
----------------	-----------------------

全組織	目標設定	3月
		翌年度目標の設定
	根拠データ整理	年度内
		自己点検・評価に必要なデータ（根拠資料）を整理
	自己点検・評価シート等の作成、提出	5月中旬：提出期限
		自己点検・評価を実施（「自己点検・評価シート」を作成）



ピアレビュー 委員会	7月中旬：提出期限 「ピアレビュー結果（案）」を作成
	5月下旬～6月中旬 ①ピアレビュー委員会において、ピアレビュー受審組織の「自己点検・評価シート」を チェック
	6月下旬～7月上旬 ②ヒアリング（ピアレビュー委員会による組織ごとの自己点検・評価に関する聴取）を実施
	7月中旬 ③受審組織に「ピアレビュー結果（案）」を内示



ピアレビュー 受審組織	異議申し立て期間	7月中旬～（1週間程度）
		ピアレビュー受審組織は「ピアレビュー結果（案）」に対して異議を申し立てることができる



ピアレビュー 委員会	8月上旬：提出期限
	①必要に応じて受審組織に再ヒアリングを行い「ピアレビュー結果（案）」を修正
	8月中旬 ②委員会による最終確認の後、「ピアレビュー結果」を自己点検・評価委員会に提出



自己点検・ 評価委員会	9月上旬
	①「自己点検・評価シート」（ピアレビュー結果を含む）等の確認
	②ピアレビュー結果に基づく見解や受審組織以外の自己点検・評価の共有
	③全学的課題（案）の作成
	9月中旬 ④内部質保証推進委員会に「自己点検・評価シート（ピアレビュー結果を含む）」等の提出、 全学的課題の提案、個別課題の報告



※内部質保証推進委員会にて、全学的課題の審議・決定。学長が大学協議会で報告の後、自己点検・評価結果を公表。その後学長は理事会に報告。

全組織	改善計画書の作成 改善報告書の作成	10月中旬：提出期限
		①各組織は、ピアレビュー結果をもとに改善計画書を作成し、計画的な改善を行う。なお、ピアレビュー結果の「留意点」において「緊急の改善を要する事項【A】」の指摘を受けた組織は、必ず改善計画書を提出すること。
		5月中旬（翌年度の自己点検・評価シート提出時）：提出期限 ②改善の進捗状況について取りまとめた改善報告書を作成する。

(表3-1)

中部大学 自己点検・評価実施計画

(ピアレビュー)：ピアレビュー担当
*：ピアレビュー受審

実施年度			2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
評価対象年度			年度 2019 詳細 2018－19	年度 2020 詳細 2019－20	年度 2021 詳細 2019－21	年度 2022 詳細 2020－22	年度 2023 詳細 2021－23	年度 2024 詳細 2022－24	年度 2025 詳細 2023－25	年度 2026 詳細 2024－26	年度 2027 詳細 2023－27
教育組織	工学部 工学研究科	C群	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*
	経営情報学部 経営情報学研究科	B群	年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*	年度点検
	国際関係学部	A群	詳細点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)
	人文学部	A群	詳細点検*	年度点検 (ピアレビュー)	年度点検	詳細点検*	年度点検 (ピアレビュー)	年度点検	詳細点検*	年度点検 (ピアレビュー)	年度点検
	国際人間学研究科	A群	詳細点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)
	応用生物学部 応用生物学研究科	A群	詳細点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)
	生命健康科学部 生命健康科学研究科	B群	年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*	年度点検
	現代教育学部 教育学研究科	C群	年度点検 (ピアレビュー)	年度点検	詳細点検*	年度点検 (ピアレビュー)	年度点検	詳細点検*	年度点検 (ピアレビュー)	年度点検	詳細点検*
	理工学部	C群					年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*
研 事 究 務 組 組 織 織	各組織	D群	年度点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)	年度点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)
		E群	年度点検 (ピアレビュー)	年度点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*	年度点検
		F群	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)	年度点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*	年度点検	年度点検 (ピアレビュー)	詳細点検*
大 学 か 全 か 体 る に 項 目	詳細点検 (基準1～10)			基準2・3・4・5・ 8・10	基準1・6・7・9	基準2・8	基準3・4・5・10	基準1・6・7・9	基準2・8	基準3・4・5・10	基準1・6・7・9
	総括（基準1～11）					対象：2020-2022			対象：2023-2025		
外 部 三 評 者 価 評 価			認証評価受審	アドバイザー会 議		外部評価	外部評価	外部評価	外部評価	認証評価受審 外部評価	外部評価

※7月までに認証評価
「改善報告書」提出

(表3-2)

中部大学 自己点検・評価対象組織（グループ分け）等 （2025年2月現在）

分担	基準	担当者
総括責任者	1	教育・学生支援担当副学長
	2	評価担当副学長（大学企画室長）
	3	総務担当副学長
	4	教育・学生支援担当副学長（教務部長）
	5	入試担当副学長（入学センター長）
	6	人事担当副学長
	7	教育・学生支援担当副学長（学生部長・キャリア部長）
	8	研究戦略担当副学長
	9	国際・地域・社会連携戦略担当副学長（学園広報部長）
	10（大学運営）	大学事務局長
	10（財務）	法人事務局長（財務部長）
11（研究推進）	研究戦略担当副学長	
11（管理運営）	大学事務局長	

群	区分	学部・研究科名
A	教育組織	国際関係学部
		人文学部
		国際人間学研究科
		応用生物学部
		応用生物学研究科

群	区分	学部・研究科名
B	教育組織	経営情報学部
		経営情報学研究科
		生命健康科学部
		生命健康科学研究科
		人間力創成教育院
		創造的リベラルアーツセンター
		教職課程センター

群	区分	学部・研究科名
C	教育組織	工学部
		工学研究科
		現代教育学部
		教育学研究科
		理工学部

群	区分	部署名
D	研究組織	先端研究センター
		ペプチド研究センター
		ミュオン理工学研究センター
		国際人間学研究所
		生物機能開発研究所
		アイソトープセンター
		サボテン・多肉植物研究センター
	事務組織	看護実習センター
		臨床検査技術教育・実習センター
		理学療法実習センター
		作業療法実習センター
		臨床工学実習センター
		救急救命教育・実習センター
		管理栄養実習センター
		監査室
		総務課
		人事課
		出張旅費センター
		財務課
		国際関係学部事務室
		人文学部事務室
		応用生物学部事務室
		国際交流課
		地域連携課
		教育支援課
		図書館事務課
		健康増進センター事務課
		臨地実習推進事務課
		研修センター

群	区分	部署名
E	研究組織	創発学術院
		中部高等学術研究所
		国際ESD・SDGsセンター
		国際GISセンター
		産業経済研究所
		生命健康科学研究所
		実験動物教育研究センター
	事務組織	女性活躍推進室
		民族資料博物館
		蝶類研究資料館
		東京サテライトオフィス
		理事長・総長室
		管財課
		施設課
		購買課
		学術企画課
		学長室
		大学IR推進課
		高等教育推進課
		大学評価事務課
		学事課
		設置改組準備課
		経営情報学部事務室
		生命健康科学部事務室
		人間力創成教育院事務室
		創造的リベラルアーツセンター事務室
		入試広報課
		入試事務課
		アドミッション戦略課

群	区分	部署名
F	研究組織	超伝導・持続可能エネルギー研究センター
		現代教育学研究所
		生産技術開発センター
		AI数理データサイエンスセンター
		環境保全教育研究センター
		天文台
	事務組織	教育技術部
		学習支援室
		学生相談室
		体育・文化センター事務課
		学生寮
		保健管理室
		睡眠相談室
		振興基金室
		広報課
		制作課
		渉外課
		工学部事務室
		現代教育学部事務室
		理工学部事務室
		教務支援課
		教職課程センター事務課
		学生支援課
		学生サポートセンター事務課
		キャリア支援課
		情報統括部
		学部・大学院統括課
		研究支援課

年度 自己点検・評価シート

自己評価組織

基準

I. 課題事項等への対応状況

前回の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

☐ 課題事項	☐ ピアレビュー結果（留意点）
項目 No.	
改善・向上への取り組みおよび進捗状況	*成果の有無を問わない

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

評価項目			自己評価	
評価の視点				
現状説明				

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色 《箇条書き》
項目 No.
項目 No.
項目 No.

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項 《箇条書き》	
項目 No.	
今後の改善・向上方策	

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評	
長所・特色	
留意点	*各項に留意点レベルを記入 【A】 緊急の改善を要する事項 【B】 検討を要する事項

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料
●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする
△：現部署で保管

年度 自己点検・評価シート

自己評価組織	
人員構成	専任・嘱託 人、派遣・契約事務補助員 人

基準	
----	--

I. 課題事項等への対応状況

前回の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

☐ 課題事項 ☐ ピアレビュー結果（留意点）	
項目 No.	
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	

II. 自己点検・評価

0. 事前確認

前年度の重点目標を記入してください。

重点目標

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

評価項目			自己評価	
評価の視点				
現状説明				

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色 《箇条書き》	
項目 No.	
項目 No.	
項目 No.	

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項 《箇条書き》	
項目 No.	
今後の改善・向上方策	

4. 今年度の重点目標

自己点検・評価を踏まえた、今年度の重点目標を記入してください。

今年度の重点目標

5. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料
●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする
△：現部署で保管

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評

長所・特色
留意点

年度 自己点検・評価シート

自己評価組織

基準

I. 課題事項等への対応状況

前回の「自己点検・評価シート」の課題事項を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

課題事項	
項目 No.	
改善・向上への取り組みおよび進捗状況	*成果の有無を問わない

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

評価項目			自己 評価	
評価の視点				
現状説明				

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色 《箇条書き》	
項目 No.	
項目 No.	
項目 No.	

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項 《箇条書き》	
項目 No.	
今後の改善・向上方策	

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出 区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料
●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする
△：現部署で保管

年度(対象: ~ 年度) 自己点検・評価シート【総括】

総括者肩書

基準

＊ 対象年度の「自己点検・評価シート」および「ピアレビュー報告書」に基づき、当該基準について全学的観点から総括してください。

1. 自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

評価項目	基準 「 」について、全学的視点から内部質保証に向けての取り組みが実行されていますか。	自己評価
評価の視点	(1) 本学の「 」について、内部質保証のための全学的な方針を踏まえて適切に実行し、PDCAサイクルを回していますか。 ・具体的に特筆すべき点（組織等を含む）をあげて評価 ・具体的に改善すべき点（組織等を含む）をあげて評価 (2) 本学の「 」について、社会やステークホルダーに対して、大学として説明責任を果たしていますか。	

2. 長所・特色

大学全体および各組織における自己点検・評価の「長所・特色」のうち、特に「他の組織の模範となり、本学の特色としてアピールできる」事項を記入してください。

工学部	
経営情報学部	
国際関係学部	
人文学部	
応用生物学部	
生命健康科学部	
現代教育学部	
人間力創成教育院 (人間力創成総合教育センター)	
創造的リベラルアーツ センター	
教職課程センター	

工学研究科	
経営情報学研究科	
国際人間学研究科	
応用生物学研究科	
生命健康科学研究科	
教育学研究科	
研究	
事務	
大学	

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

大学全体および各組織における自己点検・評価の「課題事項」のうち、特に重要性・緊急性が高い事項と今後の改善・向上方策を記入してください。

工学部	
経営情報学部	
国際関係学部	
人文学部	
応用生物学部	
生命健康科学部	
現代教育学部	
人間力創成教育院 (人間力創成総合教育センター)	
創造的リベラルアーツ センター	
教職課程センター	
工学研究科	
経営情報学研究科	
国際人間学研究科	
応用生物学研究科	

生命健康科学研究科	
教育学研究科	
研究	
事務	
大学	

4. 総評

大学全体および各組織における長所・特色、課題事項と今後の改善・向上方策を総括し、総評を記入してください。

--

年度（対象： ～ 年度） 自己点検・評価シート【総括】

総括者肩書

基準

＊ 対象年度の「自己点検・評価シート」および「ピアレビュー報告書」に基づき、当該基準について全学的観点から総括してください。

1. 自己点検・評価結果 <評定>

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

評価項目	基準 「 」について、全学的視点から内部質保証に向けての取り組みが実行されていますか。	自己評価
評価の視点	(1) 本学の「 」について、内部質保証のための全学的な方針を踏まえて適切に実行し、PDCAサイクルを回していますか。 ・具体的に特筆すべき点（組織等を含む）をあげて評価 ・具体的に改善すべき点（組織等を含む）をあげて評価 (2) 本学の「 」について、社会やステークホルダーに対して、大学として説明責任を果たしていますか。	

2. 長所・特色

大学全体および各組織における自己点検・評価の「長所・特色」のうち、特に「他の組織の範となり、本学の特色としてアピールできる」事項を記入してください。

--

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

大学全体および各組織における自己点検・評価の「課題事項」のうち、特に重要性・緊急性が高い事項と今後の改善・向上方策を記入してください。

--

(様式1-3)

年度 自己点検・評価シート 根拠資料一覧

組織名

基準（シートNo.）	根拠資料 No.	根拠資料の名称	提出 区分
1. 理念・目的 (NF1)			
2. 内部質保証 (NF2)			
4. 教育・学習(4a) (NF4a・EF4)			
4. 教育・学習(4b) (NF4b)			
5. 学生の受け入れ (NF5・EF5)			
6. 教員・教員組織 (NF6)			
7. 学生支援 (NF7・EF7)			
8. 教育研究等環境 (NF8)			
9. 社会連携・社会貢献 (NF9)			
11. 大学独自の評価項目 (NF11)			

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料
●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする
△：現部署で保管

(様式 2-1)

年度（対象： 年度） 自己点検・評価 「個別課題」 改善計画書

提 出 日	年 月 日
組 織 名	
責任者（点検者）	

評価項目		
留意点		
改善計画		
目標期日		

A4 用紙表 1 枚におさまるように記入をお願いします。

(様式 2-2)

年度（対象： 年度） 自己点検・評価 「個別課題」 改善報告書

提出日	年 月 日
組織名	
責任者（点検者）	

評価項目			
留意点			
改善 報告	評価当時の 状況		
	評価後の 改善状況		
	改善状況を示す具体的 な根拠・ データ等		
	改善率		達成日または目標期日

A4 用紙表 1 枚におさまるように記入をお願いします。